



鳥川ホタルの里
ゲンジボタル



多治見技術センター
ケリ



高森山公園
コバノミツバツツジ

愛知県 環境局 環境政策部 自然環境課 主催

要申込

自然共生サイト説明会

～自然共生サイトの『新制度』と『認定事例』の紹介～

2025年

3月7日 FRI 14:00 - 16:45

- ・オンライン併催
(セミナーのみ)
- ・参加無料
- ・現地会場先着100名

プログラム

セミナーの部 14:00～16:00

2025年度から法制化される、自然共生サイトの新制度（新法：地域生物多様性増進法）をいち早くご説明します。また、自然共生サイトの認定事例を併せてご紹介します。

新制度の紹介 14:05- 14:55

環境省 中部地方環境事務所
次長 野村 環 氏

自然共生サイト認定事例 15:00- 16:00

『鳥川ホタルの里』
岡崎市 環境部 環境政策課 係長 鈴木 智 氏

『多治見技術センター』
トヨタ紡織株式会社 技術管理領域 領域長 加藤 麻美 氏

『高森山公園』
NPO法人高蔵寺どんぐりs 理事長 堀内 泰 氏

交流会の部（現地会場のみ） 16:15 - 16:45

講師や登壇者との意見交換ができますので、是非ご参加ください。

現地会場

〒460-0002
名古屋市中区丸の内3丁目16番29号
新東通信本社ビル 8階ホール



地下鉄桜通線

「久屋大通駅」

1番出口徒歩3分

お車の方は近隣コインパーキング
(自己負担)をご利用ください。

対象

自然共生サイト認定制度、生物多様性保全に関心のある方（企業・団体・自治体など）

定員

先着100名（現地会場）
現地会場が定員となった場合は、
オンラインでご視聴ください。

お申し込み

現地会場でのご参加、
またはオンライン視聴を
ご希望の方は、右記二次元コード
よりお申し込みください。



運営

新東通信・グリーンフロント研究所
共同事業体

お問い合わせ



0564-47-7970

(グリーンフロント研究所 内/月～金 9:00-18:00)



office@gfken.com

地域生物多様性増進法（地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律）

企業やNPOなどの多様な主体が連携し、生物多様性の維持、回復、創出することを目的としています。これにより、自然環境の保全と経済・社会の持続的発展の両立を図り、ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現を目指しています。

活動計画の認定

企業やNPO等が作成した「増進活動実施計画」や、市町村が地域の多様な主体と連携して作成した「連携増進活動実施計画」を主務大臣（環境大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）が認定します。



生物多様性維持協定

認定を受けた「連携増進活動実施計画」を実施する市町村が、土地所有者などと協定を結び、長期安定的な活動を推進する仕組みが設けられます。



ネイチャーポジティブ
イメージキャラクター
いだいらぽじー



自然共生サイトの認定事例紹介

・岡崎市 鳥川ホタルの里



ゲンジボタルの発生地として知られています。鳥川町の全戸が会員として活動に参画する「鳥川ホタル保存会」が環境整備を行い、自然保全に努めています。2023年9月にはフタバ産業（株）、岡崎市、鳥川ホタル保存会が「自然共生に関する連携協定」を締結。ホタルと共生する里山の自然を次世代へつなぐ場として、さらなる保全活動が進められています。

・トヨタ紡織株式会社 多治見技術センター



開発当初から地道な土壌改良と緑化活動を継続した結果、荒廃していた鉱山跡地は徐々に回復し、現在では国や県の絶滅危惧種に指定されている希少な昆虫を含む、多様な生物の生息地となっています。また、外来種の駆除や在来種の保全活動にも力を入れ、地域住民、行政と連携を図りながら、自然と共生する社会の実現に貢献しています。

・NPO法人高蔵寺どんぐりs 高森山公園



高森山は約50年前の山火事等で荒廃しましたが、地元住民の「どんぐり作戦」により自然が回復。しかし、その後の管理不足で鬱蒼化し、2017年からNPO法人高蔵寺どんぐりsが整備を再開。現在は約700種の生物が生息する里山として復活しました。当団体は「ツツジを見よう会」などの催しも企画し、今後も自然環境の保全とまちの活性化に貢献しています。

運営

新東通信・グリーンフロント研究所
共同事業体

お問い合わせ



0564-47-7970

(グリーンフロント研究所 内/月～金 9:00-18:00)



office@gfken.com